



全国の最北南端、最西東端へ到達したという岩下さん。妻の久美子さんと



現在、自転車は手元にありませんがミニチュアを飾っています



旅の記録をお手製の手帳におさめて



岩下さんのヘアースタイルと同じくマキの生け垣もきれいに剪定



失礼ながら、岩下さんの見事な角刈り部分だけをパチリ

なんと見事な角刈り

鉄砂川沿いを北へと進んで、次は馬水北をぶらり。と、手入れされたマキの生け垣に囲まれた家を見つめました。「よか天気ですね」と声を掛けてくれたのは岩下孝道さんです。庭先には植物の鉢が整然と並べられ、小屋の作業場も整理が行き届いています。

初めてお会いしたのにとても気さくな岩下さん。その几帳面な性格はヘアースタイルにも表れています。見れば見るほど、見事な角刈りです。正面サイドは定規で測ったように90度の角度をキープ。「2週間に1度、年に25回は散髪に行きます。理容室の主人から『あなたが朝から来ると、一日中、手がこわって仕事にならない』と苦情ば言

われます」と笑わせる岩下さんの隣で妻の久美子さんも、「この頭をタワシ代わりにして、風呂場を掃除してくれると助かるとにね」と笑いをかぶせてきます。

さてタワシ頭…、失礼！角刈りの話はこれくらいにして。そんな岩下さんは46歳の時、一念発起し自転車で日本縦断の旅に挑戦しました。公務員だった岩下さんは夏休暇を利用して1年目に九州を制覇し、翌年には四国、さらに関西と北上しながら、数年をかけて北海道最北端の宗谷岬に到達しました。

「自転車の旅は観光旅行とはまた違い、一期一会の出会いがあります。その町の匂いや温度を感じながら、初めての土地の居酒屋で見知らぬ人たちと酒を酌み交わして仲良くなったたり、いい思い出ばかりです」と話します。以来、長期

終の棲家の地域のために

昨年「広報ましき」9月号のわがまち散歩で、馬水北にある狐塚天満宮について教えてくれた栗津順一さんに再会しました。

少しも変わらず、元氣な笑顔をみせる栗津さんは大分県出身。サラリーマン時代は各地を転勤し、38年前に馬水地区に定住しました。退職後のそれからはいろいろと活動



家庭菜園でいろんな野菜を育てている栗津さん

休暇が取れると、バイクや車でこれまで旅した土地を再び訪れたそうです。「2度目に宗谷岬に行った時、売店の人が『お久しぶりですね』と声を掛けてくれて。この角刈り頭を覚えてくれていたんです」と岩下さんは苦笑しながら、トレッドマークの頭をさつとなでました。



朝から笑顔を携えながら、グラウンドゴルフに汗を流す馬水地区の皆さん

し、現在は「馬水老盛会」の皆さんと広安小学校の児童たちに野菜や花作りを指導しているそうです。自らも、知り合いの畑を借りて無農薬野菜を栽培していて、「おかげでわが家は年中、野菜には困りませんね」と笑います。

そんな栗津さんのもう一つの楽しみが、毎週、水曜と土曜の朝から仲間と汗を流すグラウンドゴルフ。「健康長寿」を掲げる馬水グループの最高齢は94歳と聞いてびっくり。この中には先述の松本稔さんの笑顔もあります。「70代の私たちなんて、まだまだひよっこです」と笑うのは、一番乗りでグラウンドの整備をしていた古川正人さんです。

元氣に参加する栗津さんも楽しそう、こうして健康な体づくり